

## 常盤塾

日時：2015年7月11日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 福井悠太

メンバー：常盤さん 安梅さん 佐藤さん 丸山さん 上原さん 大下さん 松崎さん  
臼井さん 今田さん 出井さん 古城さん 古川さん

次回に向けての連絡

松永さん：発表

片平先生：四年生が来られないので、部屋の鍵を開けていただく

懇親会のお店を見つけていただく

### （1）常盤先生の話

#### ●常盤さん

株主総会の話しをしたい。

株主対策で仮装質問を考えると、大変な準備をしている

コーポレートガバナンスはしっかりしているか？ROEをどうやって高める。女性従業員の雇用割合など

大株主は企業に注文をつけるという風潮がある

しかし、こんなことをしても企業はよくなる。アメリカかぶれ

ROEに関しては見かけだけあげようとしてもできる。

お金をいかに活用するかということにこだわっているが、人も資源である

人をいかに活用するかの方が大事である

今の日本はアメリカではどうか？という「では」の神に取り憑かれている

リーマンショックの時のようにお金より人の方が大事という流れになったのに最近また揺れ戻しが起きている

お手本はアメリカ以外にもあるはずである

戦争中に創業した長崎県にある「コウガ」という中小企業の社長とお話した

みんなが一つになっている。

「オセンショ」自分のことのように相手を思いやるという意味

九州にはこのような言葉がある

どこよりも明るい職場を作ろうという企業理念を持っているが、このような会社はめったにない  
リストラはしないという決心のもと、辛い時期も乗り越えた。

「たとえ売れる日も売れぬ日も、同じ機嫌のカザグルマ」

人を大事にして職場を作れば、結果も付いてくる  
職場環境を整えることで結束力がでる  
さらに、従業員だけでなく、従業員の家族も大切に  
家族、コミュニティの中で仕事をするのが大事であるというお話しであった。

居場所というのが人間にとって、さらに会社にとって一番大事  
現在では派遣社員などが増えてきて、居場所がなくなっている  
居場所とは安心して働ける場、そして自分の力を発揮できる場  
個性を出して、自分で仕事を作り出すという意識付けが大事  
キーワードは、「雇用の保証」  
雇用の保証があって初めて、イノベーションが生まれる  
終身雇用、年功序列とまでは言わないが、長期雇用を中心とすることが必要

個人の目標と会社の目標のベクトルを合わせて、一つの目標を作っていないと会社が成長しない。その目標をいかに定めるかが大事である。  
そして、仕事をしている時に、行為者と観察者、応援者が一つになっている職場がいいし、ぬくもりがある（仕事をする人を見ている人がいるということ）

アメリカ人は一かゼロかという考え方であるが、日本は真ん中、中間という考え方がある  
オリンピックの通訳の方の話では、直接訳していたのでは伝わらないということであった  
日本には、中間の曖昧さがある  
海外では、子供でも「Why〜」「Because〜」という答えをするが、日本では「だって、、、」というような曖昧さがある

日本の文化は饅頭である。  
日本はあんこと皮が一体で、自分の中心とその他が密に結びついている  
だから、日本人は議論があまり好きでない

企業は空気であると社長が言っていて、

●古川さん  
学び方では何がいいでしょうか？

●常盤さん  
暗記が一番いい

●古川さん

奥さんがアクティブラーニングをしている  
人間は、自分で行動して式を作って学んでいく

●常盤さん

自分が豊かでないと他人と議論できない  
嫌いなのは、アメリカ流のケーススタディーは、生徒側に能力がないといけない  
知識を蓄えることがまず大事

日本流も一つのアプローチとしていいということで、アメリカが良くて日本がダメというのはい  
けないということ

●安梅さん

昨日片平先生の教え子の菅野さんのお話をきいたが、ブランディングに血が通っているというこ  
とを気づいた。

●常盤さん

会社は血が通った場所で、そこを楽しむのが大事  
ワークライフバランスというような言葉はけしからん

●古川さん

運動など習得に時間がかかるものは、年長者に教を乞うということから、日本には上下関係が  
あるが、議論するときは対等というような話がある。

●常盤さん

習得の仕方は、坂道をじっくりと登るか、階段で上っていくかの二つがある。  
階段では、平たいときが大事で、エネルギーを蓄える時期である  
習得の仕方の差を考えた方がいい。  
階段というより、石段  
答えになってないが、なっていないのが伸び代があってよい

●松崎さん

ダイキンという会社は M&A などが大きくなった会社で、副社長一緒になる機会があった  
会議のときに盆踊りをやって焼きそばをやるなどで、コミュニティーをしっかりとつくる  
資本の論理という言葉もあるが、日本人らしい良さを伝えている  
文化の逆輸入ができるような会社で、こういうような会社がいい会社だと感じた

●常盤さん

何年も前に盆踊りがいい行事だとホンダが証明している

古き良きアプローチは大切にしないとイケない

国同士でも、単にフラットな関係というだけでなく、フラットとは？と考えてみるといい文化を相手の国の味付けにするのも大事

●片平さん

花王の方がフィリピンに視察に行ったとき、フィリピン人はどんどん辞めるということに気がついた。

自分の目には満足しているようだが、ドバイで五倍の給料に吊られて出て行く

フィリピンが真にグローバルな国で、国境がない

しかし、現地に根ざした福祉を充実させたところ、辞めるものがなくなった

●常盤さん

相手の文化に合わせるというのは大事

労使関係とは何か？一緒に働いているのに、労働者も使用者もない

ディープグローバリゼーション

グローバリゼーションはローカリゼーションを積み上げたときに、でてくるものである

結果的にはグローバルでも掘り下げみるとローカルが出てくる

●片平さん

ライオンズクラブに呼ばれて行った

毎週水曜日集まってご飯を食う

一緒に筋肉を使うと脳に同じメンバーであるという思いが刻まれる

他にもニュージーランドのラグビーのハカなど

日本の弱いところは、君が代を歌わない

●常盤さん

グンゼの竹中では社是をいう

文化やカラーというのが、国にも企業にもあっていいと思う

ROE が低くてもいい会社というのはいっぱいある

## (2)「21世紀の資本」

発表資料参照

●古城さん

人の資産もお金をかけた教育によるものである側面がある  
税金がかからない面が返ってダメかも

●上原さん

教育をタダにすると、結局塾で差別化するようになる

●今田さん

雑誌にもあったが、いい大学に行こうと思ったらいい高校に行かないといけない

●常盤さん

今増えている広告は、塾、住宅、就活  
塾の広告を出しているのはおかしい

●上原さん

子供を留学させられるのは、お金持ちで、格差が継続する

●常盤さん

誰がいい人材かわからない  
お金をかけて高等教育を受けた人か、技術を持った人か

●古城さん

APUの方と話してみると、アメリカだとMBAの大学で給料が全く違うから意味があるが、日本ではそんなに意味がないのでは？  
日本は、専門と違うところに配属されて会社入ってから勉強するという面もある

●上原さん

現在 google が、東大のトップの学生をお金で引き抜いている

●古川さん

人工知能というのはいやですね。この分野で追いつけるのか。  
日本は、今まで文明をつくった経験がない

●常盤さん

弱くても適切な生き方を学ばばいい

ガゼルやシマウマのように、集まって生きたり、寄生していきたりという生物もいる

そのうちに共生になっていく

アメリカの生き方を真似していても意味がない

●古城さん

先ほどお餓頭の話で、日本は傷つきやすいのではないか。殻がないから。

●古城さん

ピケティはアメリカのスーパー経営者に関しては良くないと言っている

イチローのような人はいいが、経営者が何十億ももらっているのはイマイチわからない

そんなに働いているのか

●常盤さん

ギリシャは、困って助けてくれと言っているが、手を挙げていない。姿勢が見られない。

姿勢を見せることが大事

ヨーロッパ人だから変なプライドがある

●上原さん

破綻したのだとなると、立ち上がる気力がなくなる

●常盤さん

パンとサーカス

調子が良くなると、もう一つ上のものを要求するようになる

ギリシャの解決策を

●上原さん

格差が何倍がいいのかという話が出ていました。

ライオンになれないから、ガゼルでいい

しかし、ギリシャは動物園のように上から餌を与えられてら、それをただ食べてきた

そもそもギリシャは共産圏にならないように西ヨーロッパからお金をもらってきた歴史がある

●常盤さん

生物はそれぞれ生き方が違う

それに満足感をもって生きるということも大事

●上原さん

インフラがないところで生まれるものは面白い  
携帯電話がインフラになって、通話時間の持ち分がお金の代わりになることもある。

●常盤さん

Bitcoin が最近復活しているのは、やはり本質をついたサービスは生き残るということ

### (3) 常盤塾のあゆみ

●松崎さん

次の本は、月の裏側(レヴィ・ストロース)、日本のこころ(岡潔)、良心から企業統治を考える(田中一弘)が候補。

●丸山さん

月の裏側は、他の国から見た、海外との比較の上での日本文化を中心に書いてある。少し独善的なところもある。

●常盤さん

企業も自然界の生き物であるので、自然界の生き方から外れると生き残れない

●上原さん

いただいた本だけど、良心から企業統治を考えるは日本文化の正当性を具体的に書いてある。

●常盤さん

ヨーロッパを勉強しないといけない。「では」の話はいつもアメリカ。

●古城さん

車としても依然として、負けてる

●常盤さん

9、10、11月は、この本でやろう